

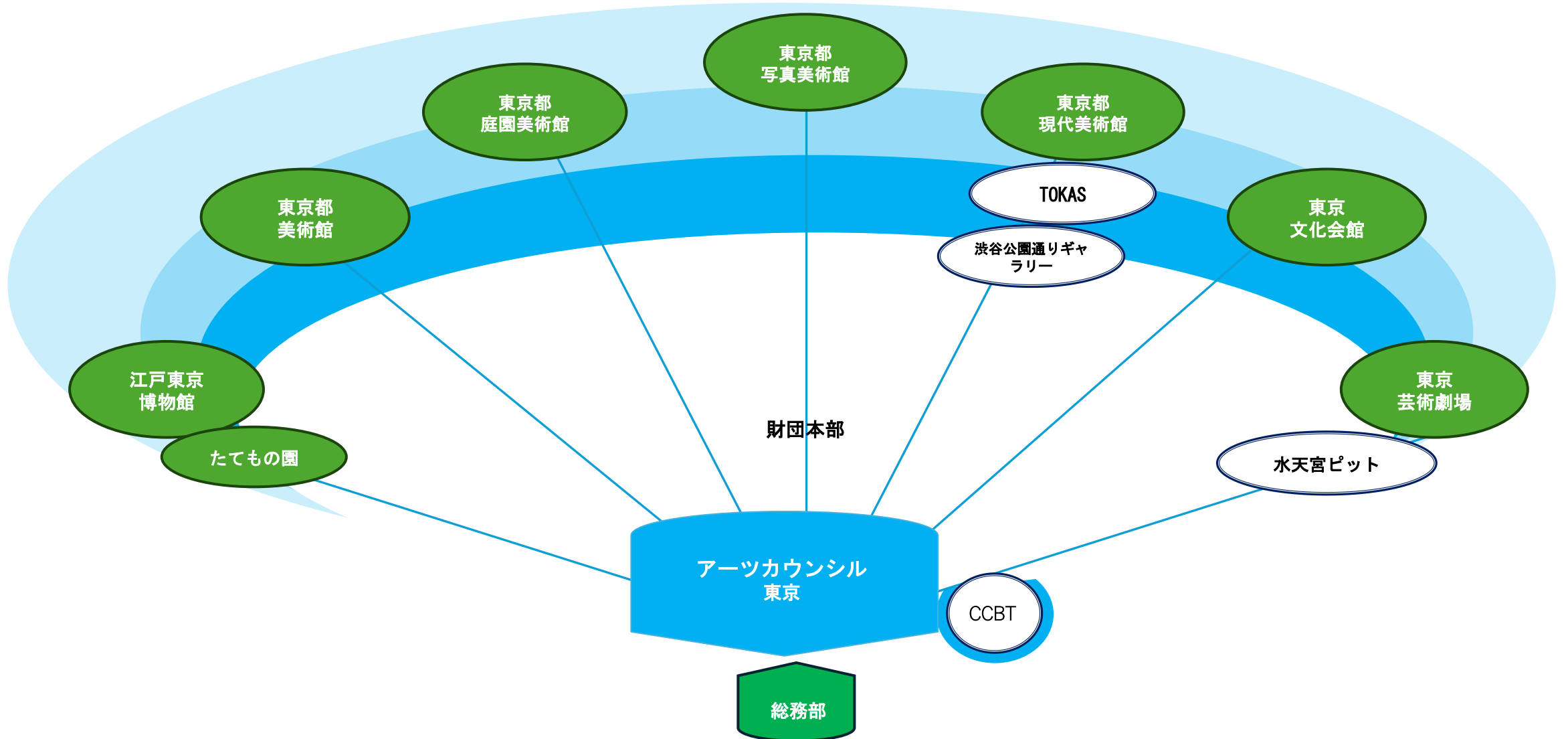
【文化審議会文化施設部会】

令和8（2026）年8月3日  
15:00-17:00  
文化庁会議室

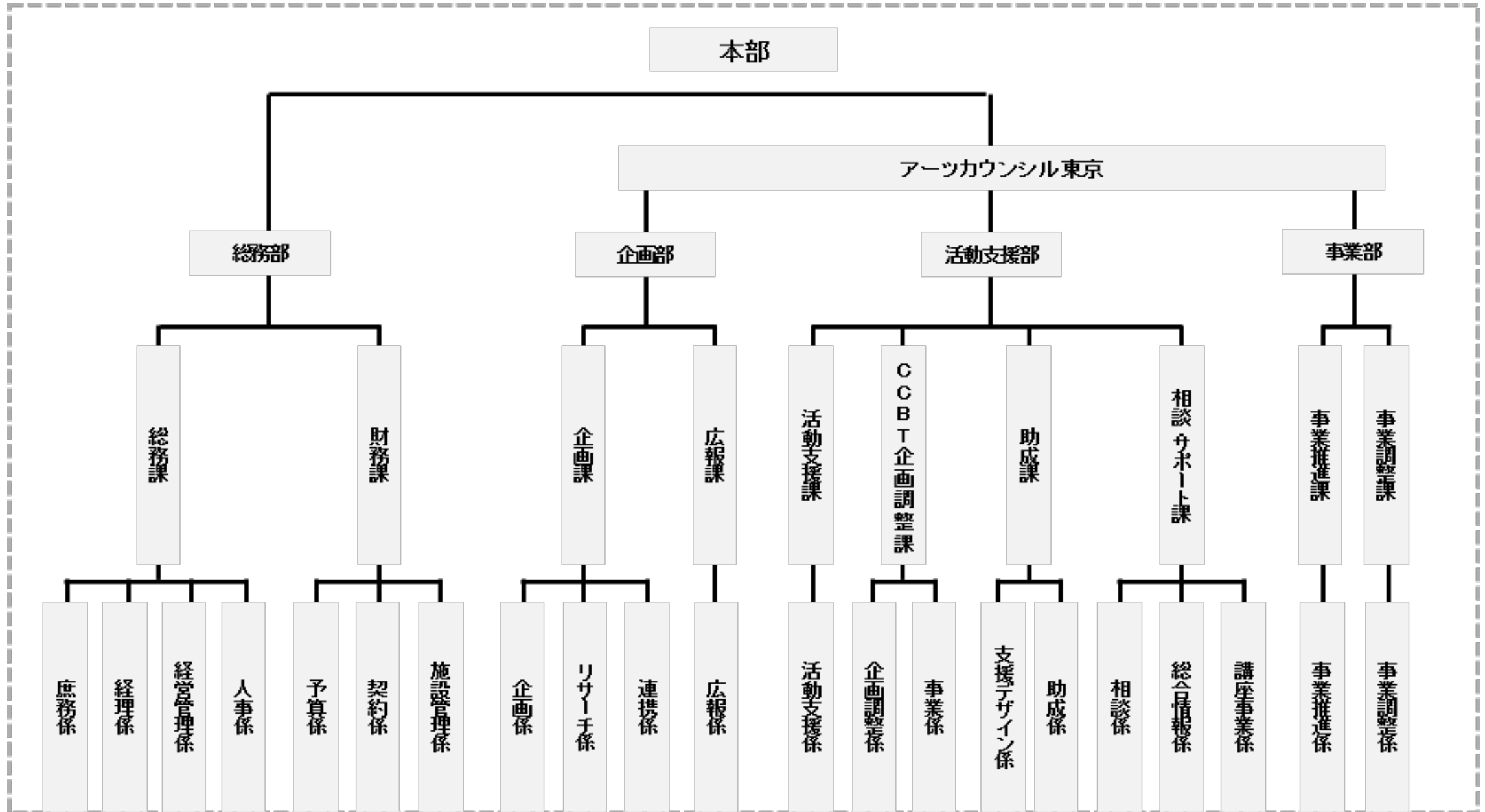
## アーツカウンシル東京に よる都立文化施設の支援

佐々木秀彦  
（江戸東京博物館）

# 東京都歴史文化財団の組織



# 財団本部の組織体制



## 【アーツカウンシル東京】

財団の企画戦略機能を担い、ホールや美術館等の施設間連携を調整・推進し、各館の事業を支援

### ○アクセシビリティ向上の取組

情報保障ツールの情報共有、アクセシビリティに関わる調査・検証・開発、公演・展览会・プログラムへの鑑賞・参画のための環境整備、各館への専門人材の配置、情報共有の場の設定等

### ○デジタルシフトへの対応

情報通信基盤整備、データベース拡充等による収蔵品の利活用、デジタルを活用したプログラムの企画開発、最先端技術を活用した新しい鑑賞体験の創出等

### ○子供の体験機会の創出

子供の芸術文化体験プラットフォームの構築、子供と芸術文化体験のつなぎ手養成等

# 【アーツカウンシル東京】

## ○施設間の連携・調整

財団内・東京都との協力体制の構築、専門知識・技能を共有する研修や報告会・勉強会の実施等

## ○戦略的なプロモーション

若年層へのプロモーション、大学とのパートナーシップ形成、夜間開館の実施、共同PR等

## ○芸術文化に関する調査分析

社会課題の調査、顧客満足度調査、文化資源調査等

## ○環境配慮の取組

「東京都歴史文化財団グリーンブック～環境配慮の手引き～」の作成と共有、情報共有の場の設定等

## ○渉外・営業

関係団体・企業・学校等との協力・連携、寄付・協賛金の獲得等

# 《私見》 今後期待される展開（希望）

---

方向性：他の都立施設との連携と基礎自治体（区市町村）の文化施設の支援

## ○人材養成

管理系職員の研修、つなぎ手の配置（マッチング）

## ○連携支援

共通テーマを設定した文化施設間の連携事業のコーディネート、芸術祭との連動

## ○収蔵品の保管活用

共同収蔵・活用施設の提案

## ○デジタル化支援

デジタルアーカイブの対象拡大（都立中央図書館、公文書館、区市町村立施設）、デジタル事典との連動、著作権処理等の相談・助言

## ○サービス向上

インバウンド対応（多言語化）、バリアフリー・ユニバーサル対応、子供・若者対応などの支援

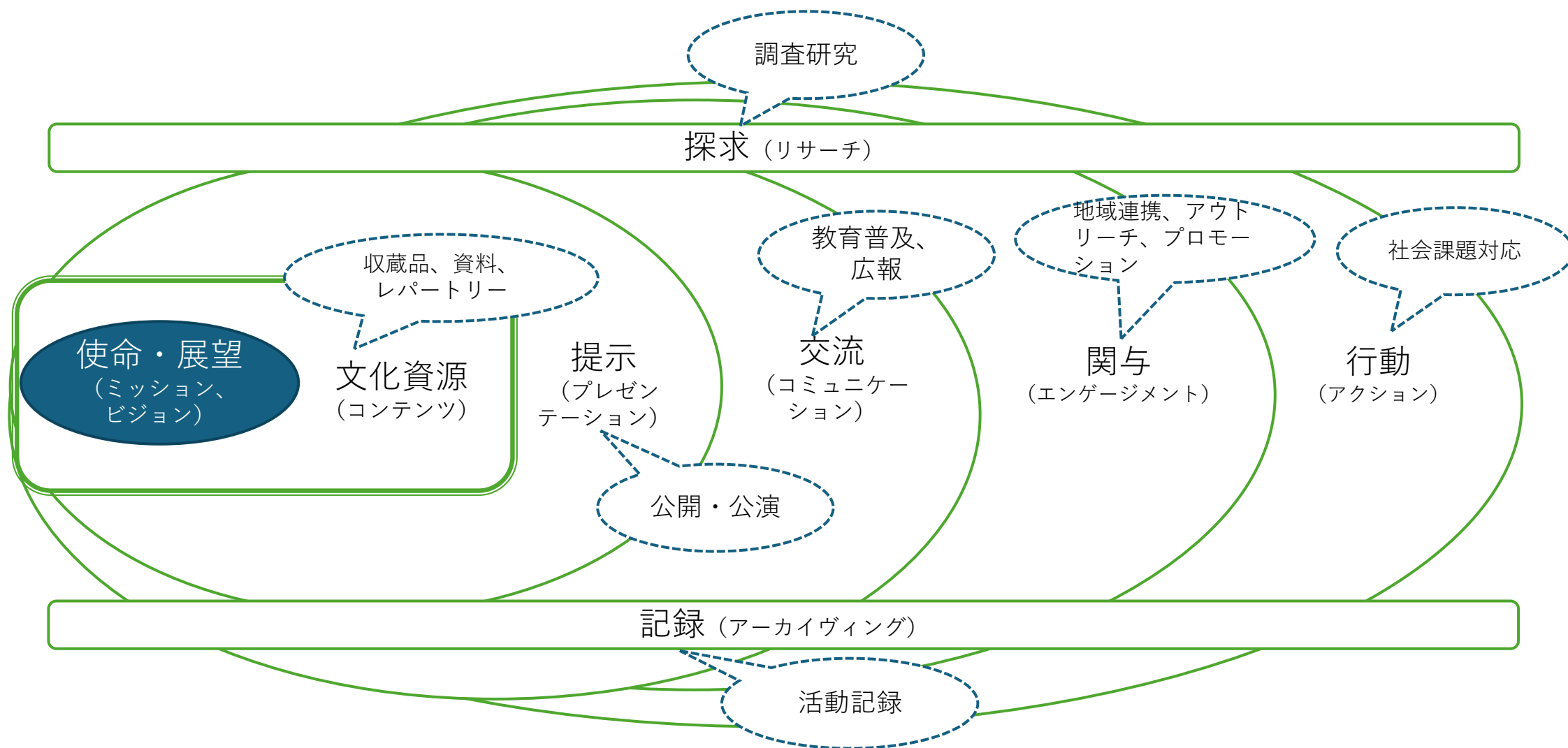
## ○広報プロモーション支援

都域一斉の夜間開館や若者招待週間などの呼びかけ

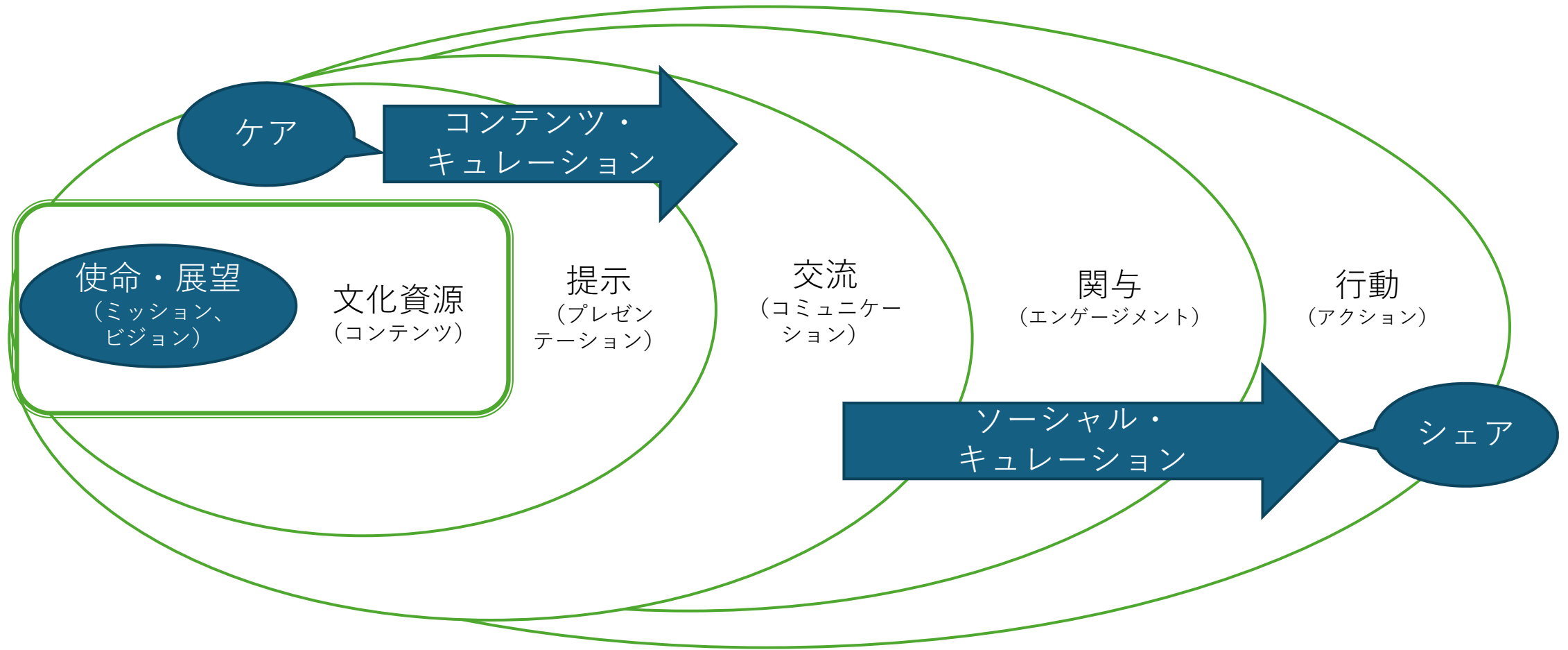
## ○資金開拓

共通の取組に対する資金開拓、協力要請

# 背景：文化施設の機能拡張



# 二つのキュレーション



出典：佐々木秀彦『文化的コモンズー文化施設がつくる交響圏』2026年、みすず書房

# 文化施設連携の条件

## 《使命・方針の明確化》

- 文化財団、地域アーツカウンシル、文化施設のミッション、ビジョン、ポリシー（基本的運営方針）の確立

## 《政策連動》

- 自治体の文化芸術推進基本計画の策定
- 文化財団・地域アーツカウンシルによる計画・戦略の策定
- 文化施設の中長期的な事業計画の策定、進捗の評価

## 《人材の確保》

- コーディネートする専任人材の養成・確保

## 《調査研究・企画開発》

- 調査研究 → 試行実施 → 効果検証 → 改善 → 本格実施・拡充